

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 8 日

事業所名 ひなたきつづ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	規定を満たしており、個別訓練の際は落ち着いて取り組めるように別室で行っています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	適切に配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	玄関にスロープを設置、室内にも段差を作っていません。写真や絵カード、視覚カード等を用いてわかりやすい・伝わりやすい環境を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	掃除や消毒、点検作業は職務の一つと位置付け、日々快適に過ごして頂けるように環境維持に努めています。また活動内容に合わせて適切な環境を準備するよう心がけています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	お子様のサービス利用前に療育内容や訓練内容等の流れを職員間で確認し、終了後も職員間で振り返りを行っています。お休みの職員には、次回出勤時に申し送りを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価結果を職員一同しっかりと受け止め、今後の支援につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	今後もホームページにて公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	連絡会会議の際や、他の関係機関にご意見を頂き、業務の改善に努めております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修計画を立て、実施しています。研修内容は記録とファイリングを行い、いつでも閲覧出来るように管理しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	モニタリングや送迎時、電話などでアセスメントを行い、お子様の現状をしっかりと把握したうえで個別支援計画を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%	特定のアセスメントツールは利用していませんが、定期的なミーティングを行い、お子様の状況を把握し、適切な介入を行えるように心がけています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ご利用前やモニタリング実施毎に課題や目標を職員で確認し、一人一人に合わせた支援内容を設定しています。職員間で情報を共有し、共通した支援を行うように心がけています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画の内容は職員一同、理解し認識しています。支援計画に基づき職員で話し合いながら活動プログラムを立案しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	一人一人のお子様にあった支援が出来るよう全職員で話し合いを行っております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎日活動プログラムを変え、一人一人に合った支援を実施しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	保護者様とお子様の意向を確認し、個別課題・個別訓練・集団活動を組み合わせ、児童発達支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	その日の活動内容を職員間で共有できるように、支援開始前にミーティングを行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	お子様の様子や、送迎時の保護者様からの連絡事項等の引継ぎ作業を行い、情報を共有しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日業務日誌、サービス提供記録、ケース記録を作成し、全職員がいつでも確認できるように管理しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的なモニタリングの実施を通して職員間でお子様の現状を話し合い、個別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	電話連絡等を行い、連携出来るように心がけています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	現在、該当するお子様のご利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	現在、該当するお子様のご利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保護者様の要望に応じて見学を実施し、担任の先生と情報の共有を行っています。見学や電話連絡等で相互理解を深めて行くように心がけています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	63%	63%	必要に応じて、各小学校に情報を提供しています。電話連絡等で情報を共有し、連携に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	38%	今後、専門機関との連携にも努めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	75%	50%	今後、活動する機会を作っていけるよう努めます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	25%	100%	積極的に参加するよう努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	モニタリング・連絡帳・電話・メールや、送迎時にお子様の事業所での様子や、発達の状況等を保護者様にお伝えし、情報共有を行っています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	63%	63%	相談をお受けした際に、個別に対応させて頂いていますが、より相談しやすい体制を整えていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	十分な理解を得られるよう、時間を取り、丁寧な説明を心がけています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援計画の変更時に面談を実施し、支援内容を保護者様が十分に理解し納得されるまで丁寧に説明を行うように心がけています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様からの相談に対し、職員間で情報を共有し、念入りに話し合い、助言・支援等を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	75%	コロナ感染防止の為、開催しておりません。今後、感染状況に応じ対応していきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	63%	63%	苦情があれば、職員間でその内容を共有し、迅速に適切な対応策を講じるようにしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、療育内容・活動内容を記載した予定表を保護者様に配布し、確認して頂いています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	書類の管理を徹底し、個人ファイルは鍵付きの書庫で保管しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	事業所内での様子をきちんと把握したうえで保護者様にお伝えし、学校やご家庭での様子も保護者様から伝えて頂くようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	75%	今後、こういった形で地域に貢献していけるか、職員一同で検討しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	様々な状況に応じたマニュアルを策定し、全職員がいつでも閲覧できる場所に保管しています。また、定期的に研修を行い記録に残し、マニュアルの見直しなども行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練や防災訓練を定期的に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	0%	0%	利用開始前の聞き取りにてしっかりと確認しています。ミーティング時に職員間で情報を共有し、全員が熟知しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様からの聞き取りや医師の指示書等によりアレルギーの有無を確認し、職員全員が熟知しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ミーティングや職員会議の際に、ヒヤリハットの内容の確認と検討を行っています。また、その結果を踏まえたくて資料を作成し、いつでも閲覧できるように保管しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、研修を定期的に行っています。また、虐待の疑いを早期発見できるようにチェックシートを作成し職員一同些細な変化にも気づけるように心がけています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	契約時や面談時にやむを得ず身体拘束を行う場合について説明し、理解を得たうえで了解を頂いています。現在身体拘束は行っていませんが、今後やむを得ず身体拘束を行わなければいけない可能性がある場合は、職員会議を開き慎重に決定します。その際は、保護者様にしっかりと説明し了承を得たうえで、児童発達支援計画にきちんと記載するとともに、身体拘束の期間中の記録も行い、早期に身体拘束を解除できるようにします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。